

事業所名 コアラキッズルーム

支援プログラム

作成日

2025年

1月

28日

| | | | | | |
|-----------|---|--|---------|---|---|
| 法人（事業所）理念 | 集団で遊び、生活する中で、子どもたちがお互いを意識して影響を受けあいながら成長していくことを後押しします。 | | | | |
| 支援方針 | <ul style="list-style-type: none"> お子さんが安心して通える環境づくりをします。特に、お子さんと指導員の良好な信頼関係は、全ての活動の土台になります。 集団の中で相手に合わせて自分の行動をコントロールする「マイペースからユアペースへ」の経験を重ねられる機会の提供を図ります。 お子さんがの「自分でやる」「自分でできた」機会を奪わないよう、指導員は必要以上に先回りしないようにします。 | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 0分から | 18時 | 0分まで | 送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 支援内容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 来所時の健康チェックとご家庭の情報共有により、健康状態の維持・改善を図ります。 身支度の時間を、基本的生活スキル獲得を目指す機会と捉え、お子さんの成長段階に合わせた最小限のサポートの反復・習慣化によりスキル獲得・自立を目指します。 | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 集団歩行の活動を中心に、集団及び個別で身体を使う活動に日々提供します。 自然に囲まれた環境の中で、自然と直接触れ合う遊びの時間を大切にしています。 | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 集団活動において、お子さんたちが周囲の状況把握をして行動に移しやすくなるよう活動内容・活動時間の構造化を図ります。 視覚、聴覚、触覚を活用して、認知機能の発達を促すために、自然環境等も充分活用して支援します。 | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの原動力となる「伝えたい気持ち」を育み、お子さまの特性や成長段階に応じた「伝える手段」を獲得することを目指します。 集団において周囲の人とコミュニケーション成功体験の経験を積み重ねることを目指し、個別的には専門的側面から支援します。 | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 集団歩行の活動を通して、周囲のペースに合わせて行動し、自分の身体の動きや行動をコントロールする経験を積み重ねる機会を提供します。 活動参加に見通しを立てやすく、積極的に集団で活動に参加できるよう、活動内容や活動時間の設定に工夫をしていきます。 | | | |
| 家族支援 | | ・お子さまの様子、支援の様子を別室のモニターで見学できるよう対応しています。 ・面談や電話等によるご家族への相談対応を行っています。 | 移行支援 | ・お子さまの発達段階や特性を考慮して、併用先の保育園、幼稚園、こども園等と当事業所の利用日数のご相談・調整を行っています。 | |
| 地域支援・地域連携 | | ・相談支援事業所等の他の福祉サービス、保育園、幼稚園、こども園等の機関との情報共有や相談等の連携を図っています。 | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所内での研修の実施します。 外部機関の研修を導入しています。 法人が定めたキャリアパスに沿った自己評価、面談を実施しています。 | |
| 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> ハロウィン・クリスマス会・節分 その他、日常の活動や制作の中にも、季節に合ったものをその時々で取り入れています。 | | | |